



～ 内視鏡センターのご紹介 ～

おやどまり ともひで

消化器内科 内視鏡室長 親泊 智英



昨年4月より消化器内科で勤務させて頂いている親泊智英と申します。以前は和泉市の府中病院で勤務していました。消化器疾患全般を診療しておりますが、最近には主に消化管・胆膵疾患を担当することが多くなっています。今年の4月より内視鏡室長として内視鏡センターの運営に携わることとなりましたのでご挨拶させて頂きます。

当院の消化器内科の特徴として、卒後10年目前後の年数のスタッフが主体の7人チームであり、大変活気があります。内視鏡診断・治療は日進月歩であり新しいdeviceや治療法がどんどん出てきていますが、研究会などにも積極的に参加し常に新しい知識や手技を導入することをスタッフ皆で心がけています。

内視鏡センターで扱う疾患についても、上下部消化管疾患・胆膵疾患のいずれも幅広く対応しております。消化管疾患では消化管出血に対する止血や異物除去、腸閉塞に対するイレウス管留置、早期癌やポリープに対する内視鏡的粘膜切除術(EMR/ESD)、消化管狭窄に対する拡張やステント留置、胃瘻造設などを行っています。また「暗黒の臓器」と言われている小腸病変に対しても、カプセル内視鏡やダブルバルーン小腸内視鏡を用いて出血や狭窄、腫瘍の診断・治療が可能です。胆膵疾患では閉塞性黄疸に対する緊急ドレナージ、総胆管結石に対する内視鏡的乳頭切開術(EST)、腫瘍閉塞に対する金属ステントの留置などを行っています。また、昨年からはデモ機にて運営していた超音波内視鏡(EUS)も、今年の2月より本格的に始動しています。原因不明の膵炎を発症しCTやMRIで指摘困難であった微小な膵腫瘍を発見するなど、確実に成果が出てきております。その他EUSでは、粘膜下腫瘍、膵腫瘍性病変に対する穿刺生検(EUS-FNA)、乳頭からのアプローチが困難な閉塞性黄疸に対する胆道ドレナージ(EUS-BD)、膵仮性嚢胞に対するドレナージ(EUS-CD)などが可能です。症例がございましたらご紹介頂ければ幸いです。

各疾患の治療方針については、週2回(月、木)の消化器内科カンファレンスや消化器外科との合同カンファレンスを通して議論を行い、患者さんに納得して頂ける治療を行うよう努力しています。

当院は地域密着型の病院であり、開業医の先生方や他の施設との連携が非常に重要であると考えています。その中で内視鏡センターが先生方のお役にたてるよう、また、患者さんのニーズに応えられるように、より一層精進して参りたいと思います。今後ともご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



☆消化器内科(平成26年4月より)☆

9:00~12:00

月	火	水	木	金
きたの 北野 あつお 厚生	おおはし 大橋 りな 理奈	おやどまり 親宿 ともひで 智英	やまぐち 山口 たかし 敬	やました 山下 かずくに 和邦

～ 新任医師のご紹介 ～

消化器内科 医員 ^{やまぐち たかし} 山口 敬 H16 神戸大学卒 診察日:毎週木曜日

呼吸器内科 医長 ^{ふじもと ひろき} 藤本 寛樹 H15 鳥取大学卒 診察日:毎週木曜日

呼吸器内科 医員 ^{たむら かなこ} 田村 佳菜子 H24 近畿大学卒



～ 異動医師 ～

消化器内科 江口 次郎
消化器内科 米田 頼晃

呼吸器内科 佐藤 佳奈子
循環器内科 松岡 庸一郎

～ 開放型病院新登録医のご紹介 ～

医師会	医療機関名	医師名
枚岡医師会	森外科・内科クリニック	森 裕資 院長
		森 重人 副院長
河内医師会	中井クリニック	中井 邦秀 院長
	あい内科クリニック	石崎正彦 院長



上記の先生に当院の開放型病院に御参加頂きました。

社団の理念

最高の医療を提供し、地域社会の健康と健やかな人生に貢献します。

若草第一病院の目標と基本方針

<目標>
<基本方針>

- 頼りにされる病院
- ・笑顔で接する
 - ・他人に優しく、自分に厳しく
 - ・相手の気持ちになって行動する

